

【学芸員お薦めの一品】

国際交流展「^{うみやま}海山に宿る神々～^{さいし}日韓の祭祀遺跡～」

2018（平成30）年10月6日～12月2日

企画展の開催期間中、週替わりでお薦めの展示品を紹介します。

No.3 国際色豊かな航海祭祀遺跡

「^{むなかた}神宿る島」^{おきのしま}宗像・沖ノ島と関連遺産群は、2017年7月にユネスコの世界文化遺産に登録されましたが、沖ノ島の位置付けを考える上できわめて重要な遺跡が韓国にあります。それが^{チュンマドン}竹幕洞祭祀遺跡です。発掘調査によって、土器・陶磁器類や金属製品など、多様な遺物が出土しました。祭祀がピークを迎える5～6世紀、遺跡周辺は^{くだら}百済の領域に含まれていましたが、日本列島に由来する^{せきせいもぞうひん}石製模造品、中国大陸の陶磁器の他、^{かや}加耶地域と類似する祭祀の方式も確認されており、東アジア規模の交流に伴って往来する様々な地域・国家の船が立ち寄り、遠距離航海の安全を祈願するために祭祀を行った可能性があります。



陶質土器と石製模造品／竹幕洞祭祀遺跡（韓国全羅北道^{ファン}扶安郡） 国立全州博物館所蔵

- 【参考文献】 禹 在柄 2011 「竹幕洞祭祀遺跡と沖ノ島祭祀遺跡」『宗像・沖ノ島と関連遺産群』研究報告Ⅰ 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議
- 兪 炳夏 2012 「朝鮮半島における航海と祭祀—古代を中心として—」『宗像・沖ノ島と関連遺産群』研究報告Ⅱ-2 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議